

(別紙4(2))

目標達成計画

事業所名 グループホーム りすの国

作成日：令和 2年 12月 10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かつたり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	45	・入浴する方を、職員が状況を考慮し決めてしまっている。 ・拒否がみられる利用者様に対して、無理強いをせずに対応しているが、入浴出来ない日数が増えてしまっている。	・利用者様の入浴の機会、選択が増えるように、午前中も可能な限り入浴業務を行なう。 ・入浴の拒否がある方は、全職員が共通認識をもち、対応する。	・業務を見直し、職員の意識改革を行なう。 ・入浴の拒否がある方に対しては、ケアプランに入れ、全職員が共通認識をもち、「どうしたら拒否が少なくなるか」「どうしたら入浴を楽しめるか」等を考えていく。	6ヶ月
2	26	ケアプランの内容が課題ばかりになってしまっている。また、全利用者様に行なっていること(服薬確認等)がプランとしてあがっていて、ご本人やご家族の意向が入っていない。	・ケアプランの「No.1」に本人や家族の意向がくるようにする。 ・全利用者様に当たり前のように行なっていることは省き、利用者様個々の特徴や性格等を反映したケアプランにする。	・ケアプラン作成時に意識する。 ・作成後、担当職員、リーダー、管理者が確認しているが、意識的に確認する。 ・再度、本人や家族に聞き取りを実施し、見直しを行なう。	6ヶ月
3	35	年2回の決められた避難訓練は行なっている。また、職員がどう動くかのシミュレーションは定期的に行なっているが、いざという時の利用者様の反応は把握できていないと思われる。	今まで行なっていた年2回の避難訓練を、規模を小さくしても回数を増やす。	・手軽に本施設のみで、館内放送等を利用して避難訓練を行なう。 ・利用者様の負担軽減や業務への影響等は、今後実施していく中で検討していく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。